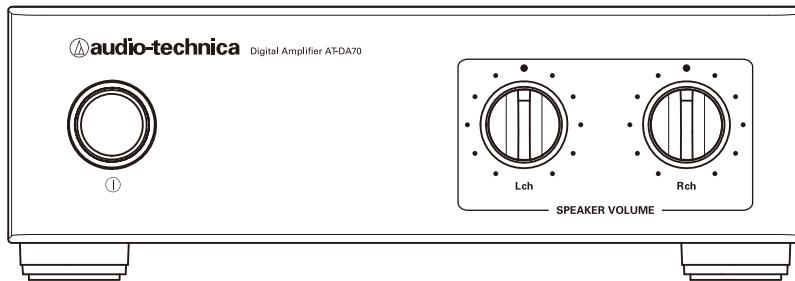


## 取扱説明書

# デジタルパワーアンプ AT-DA70

お買い上げありがとうございます。  
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。  
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。



- ミュージック／ボーカルがなめらかな音質
- 低消費電力で発熱量が少ない高効率設計
- コンパクトかつ軽量なサイズで省スペース化を実現（シンプルデザイン）
- L／R 独立ボリュームを採用
- リアリティスイッチ採用によりボリューム回路をバイパスさらに高品位な音質を再現

## 目次

安全上の注意	2
本体について	2
設置・接続について	2
使用上の注意	2
各部の名称と機能	3
接続のしかた	4
接続例	5
使いかた	6
故障かな？と思ったら	7
テクニカルデータ・外形寸法図	7

## 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

### △ 危険

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。

### △ 警告

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

### △ 注意

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

## 本体について

### △ 警告

- 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 同梱のボリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない  
事故や火災の原因になります。
- 異常に気付いたら使用しない  
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあったら、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
- 分解や改造はしない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 強い衝撃を与えない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 濡れた手で触れない  
感電やけがの原因になります。
- 本製品の上に水など液体の入った容器や花瓶などを置かない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 水をかけない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 布などでおおわない  
過熱による火災やけがの原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない  
変形、故障の原因になります。

## 設置・接続について

### △ 危険

- 本製品を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には絶対に接続しないでください。必ず交流100V(50Hz/60Hz)で使用してください。  
上記以外の電源で使用すると、感電、故障や火災の原因になります。

### △ 警告

- 本製品の通風孔をふさがない  
事故や火災の原因になります。
- 風通しの悪いところでの使用や、縦置き・天地逆さまの状態で使用しない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 急激な温度変化・湿度変化のある場所や結露の発生する場所に設置しない  
感電、火災の原因になります。  
※結露が発生したら一度電源を切り、症状がなくなつてから再度ご使用ください。
- 本製品の後面の電源コンセントに他の機器を接続する場合は、接続する機器の消費電力の合計が150Wを超えない  
感電、故障や火災の原因になります。
- コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む  
過熱による火災など事故の原因になります。
- 電源コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする  
断線、故障の原因になります。
- 電源コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない  
断線、故障の原因になります。
- プラグにたまつたほごりなどは乾いた布で定期的に拭き取る  
過熱による火災など事故の原因になります。
- 本製品を設置する際、放熱のためのスペースを確保してください。  
(天面5cm以上、後面10cm以上、側面2cm以上)  
また、本製品の底面の足は外して使用しないでください。

## 設置・接続について(つづき)

### △ 注意

- 本製品と他のオーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、接続する各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切って接続する。
- 接続する際には、指定のケーブルを使用し指定以外のケーブルで接続したり延長したりしない。  
感電、故障や火災の原因になります。
- 不安定な場所に設置しない  
落などによりけがや故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない  
故障、不具合の原因になります。
- 火気近く付けない  
変形、故障の原因になります。
- 狭い密閉された場所や熱がこもる場所には置かない  
変形、故障の原因になります。
- 足に引っかかりやすい場所にケーブルを引き回さない  
故障や事故の原因になります。

## 設置上の注意

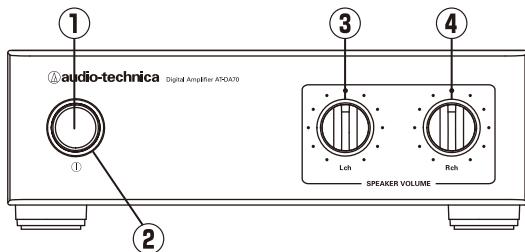
- 本製品は主電源コンセントの近くに設置し、いつでも電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。
- 電源スイッチをOFFにしてもコンセントから本製品の電源プラグを抜かない限り通電したままなので、緊急の場合は本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 使用上の注意

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。感電・火災の原因になります。
- 長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。感電・火災・故障の原因になります。
- 電源を入れる際は、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因になります。
- 本製品を移動させる際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続機器のケーブルをすべて抜いてから行なつてください。ケーブルが傷み感電・火災・故障の原因になります。
- 本製品を移動させる際は、製品の底を両手でしっかりと持ち、水平な状態で移動させてください。落としてけがをする恐れがあります。
- 本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のために電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
- 輸送・開梱・焼却時は梱包材の取り扱いにご注意ください。  
紙の端で手などを切り、けがをする恐れがあります。
- お手入れの際は、電源を切り、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なつてください。感電の原因になります。

# 各部の名称と機能

## 前面



### ①電源スイッチ

電源の ON / OFF を切り替えます。

### ②電源インジケーター

電源 ON 時 : 青色点灯

電源 OFF 時 : 消灯

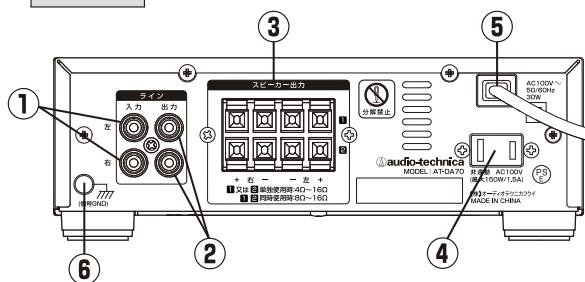
### ③L 側ボリューム (出荷時 : 最小)

L 側に接続されたスピーカーの音量調整ができます。

### ④R 側ボリューム (出荷時 : 最小)

R 側に接続されたスピーカーの音量調整ができます。

## 背面



### ①音声入力端子 左 / 右

音声信号の入力端子です。

### ②音声出力端子 左 / 右

音声信号の出力端子です。

### ③スピーカー出力端子

(上段①、下段②の 2 系統)

出力するスピーカーと接続します。

スピーカーのインピーダンスは、①または②の単独使用時は  $4\sim16\Omega$ 、同時使用時は  $8\sim16\Omega$  のものを使用してください。

### ④予備電源コンセント

非連動 : 最大消費電力 150W

### ⑤電源コード (約 1.9m)

### ⑥信号グランド端子

シグナルグランド端子です。

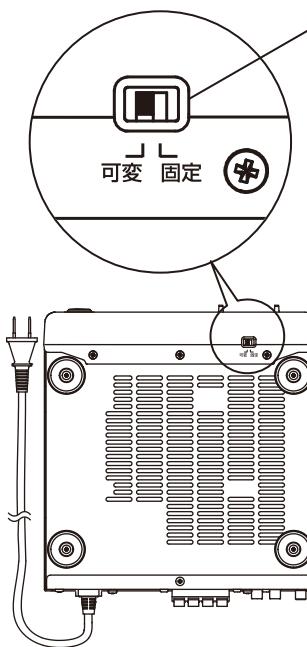
(安全アースではありません)

## 底面

### リアリティスイッチ (出荷時 : 可変)

「可変」の場合は前面の L R 各ボリュームの操作が有効になります。  
「固定」の場合は無効になります。

ボリューム回路をバイパスして、信号経路を最適化します。  
(音量は 12 時方向で固定になります)



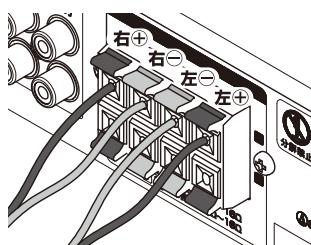
\*他の機器からの妨害ノイズの影響を防ぐために、信号グランド端子の接続をお奨めします。

\*後面にある予備電源コンセントは、最大 150Wまでの製品を接続することができます。本製品の電源スイッチ ON / OFF 切り替えに関係なく、接続した機器に常時電源を供給します。

接続した機器の電源スイッチで ON / OFF 切り替えをしてください。  
接続する機器の消費電力が 150W を超えないようにご注意ください。

# 接続のしかた

- ④ 側ケーブルをスピーカー端子の④側(赤)に



- ⑤ 側ケーブルをスピーカー端子の⑤側(黒)に

## ■スピーカーシステムの接続について

※スピーカーケーブルを接続する際は電源を切った状態で行ってください。

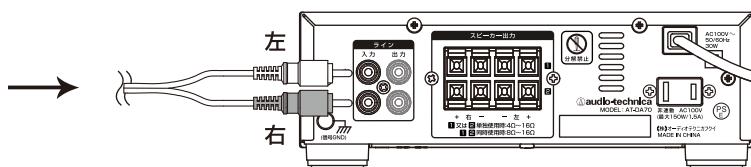
1. 使用する端子のレバーを開き、ケーブルの芯線を穴に差し込む。
2. レバーをもとに戻し、芯線を固定する。
3. ケーブルを軽く引いて固定されたことを確認する。

## △注意

- スピーカーのインピーダンスは4Ω～16Ωのものを使用してください。
- 1. 2組のスピーカーシステムを同時に使用する場合は、8Ω～16Ωのものをご使用ください。8Ωより低いインピーダンスのものを接続すると、保護回路が働き、正常なステレオ演奏ができなくなることがあります。(電源LEDが青色点滅します。)
- 左右のチャンネルを確かめてから正しくアンプの端子の④とスピーカーの端子の④、アンプの端子の⑤とスピーカーの端子の⑤を接続してください。

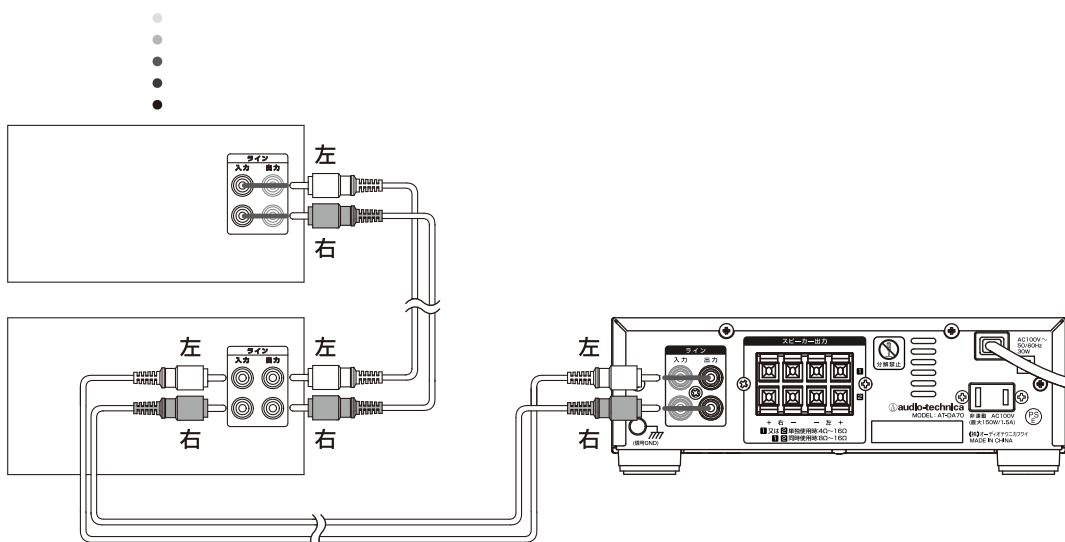
## ■入力端子の接続について

音声入力端子の左／右を確認し接続してください。



## ■出力端子の接続について

アンプをカスケード接続して使用することができます。下図を参考にし接続してください。



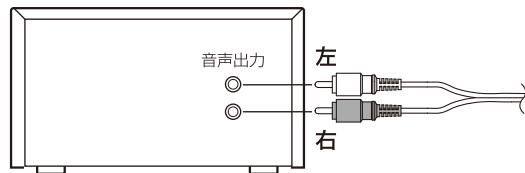
## △注意

- ほかの機器に接続する際は電源プラグを抜いて行ってください。
- 接続するケーブル・電源コードは最後まで確実に差し込んでください。不完全な接続は雑音や歪みの原因になります。
- 音声ケーブルのプラグは左の音声が白、右の音声が赤に色分けされています。

# 接続例

## 【カラオケ機器】

▼カラオケ機器  
(コマンダー)



### ■ カラオケ機器接続例

※接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

※接続する際は電源を切った状態で行なってください。

※スピーカーシステムは、接続のしかた(4ページ)に従って行なってください。

スピーカーA: 右

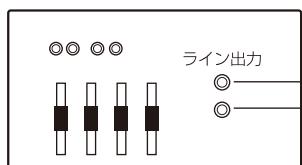
スピーカーA: 左

スピーカーB: 右

スピーカーB: 左

## 【オーディオ機器】

▼ミキサー や オーディオプレーヤー



### ■ オーディオ機器接続例

※接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

※接続する際は電源を切った状態で行なってください。

※スピーカーシステムは、接続のしかた(4ページ)に従って行なってください。

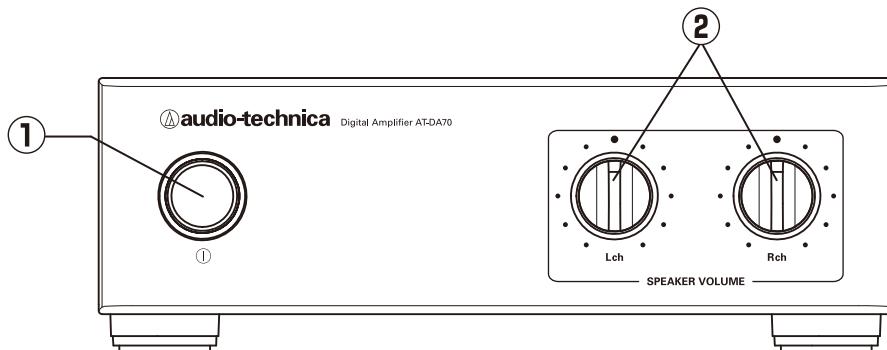
スピーカーA: 右

スピーカーA: 左

スピーカーB: 右

スピーカーB: 左

# 使いかた



## 【電源を入れる前に】

- ・接続する機器と正しく接続されているか、プラグが確実に差し込まれているか確認してください。
  - ・スピーカーケーブルは左右正しく接続されているか、芯線がはみ出していないか確認してください。芯線が他の機器や、金属部に触れると故障する場合があります。
  - ・音量調整ボリュームは最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- また、他の接続機器の故障の原因になります。

### ①電源スイッチを入れます。(ONの状態にします)

電源インジケーターが青色に点灯し、動作状態になります。

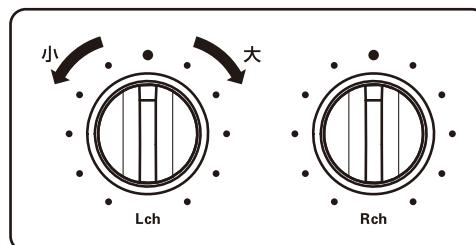
再び押すと、電源が切れて電源インジケーターが消灯します。

※本製品の電源プラグをコマンダーなどその他の機器の連動コンセントに接続したときは、接続した機器の電源に連動するので、本製品の電源スイッチは入れたままの状態でも使用できます。

### ②接続するカラオケ機器、またはその他のオーディオ機器を演奏状態にして、左右の音量調整ボリュームで適当な音量に設定します。音量は右に回すと大きく、左に回すと小さくなります。

※音量調整は必ず最小から行ってください。

※音量調整ボリュームを回しても、音量が変わらない場合は底面のリアリティスイッチが「固定」になっている可能性があります。音量調整ボリュームを最小にしてから「可変」に切り換えてご使用ください。



## 故障かな?と思ったら

### 電源が入らない

- ・電源スイッチが OFF の状態になっていませんか?  
→電源スイッチを ON の状態にしてください。
- ・電源プラグが抜けていませんか?  
→電源プラグをコンセントに差し込んでください。

### スピーカーから音が出ない

- ・音量が最小になっていますか?  
→音量調整ボリュームを右に回して音量を調整してください。
- ・接続する機器のボリューム、マイクのボリュームが最小になっていますか?  
→接続する機器、マイクのボリュームを調整してください。
- ・スピーカーケーブルがスピーカー出力端子から抜けていませんか?  
→スピーカーケーブルをスピーカー出力端子に差し込んでください。

### 電源インジケーターが青色点滅している

- ・スピーカーケーブルの $\oplus$ と $\ominus$ がショートしていますか?  
→ショートしている原因を取り除いてください。
- ・スピーカー出力端子に適合インピーダンス以外のスピーカーを接続していますか?  
→「接続のしかた」に従いスピーカーを接続し直してください。
- ・上記以外もしくは、電源インジケーターが消灯している場合  
→電源スイッチを OFF し、しばらくしてから再度スイッチを ON にしてください。復帰しない場合は販売店へご相談ください。

## テクニカルデータ

電源電圧 : AC100V  
定格周波数 : 50 / 60Hz  
消費電力 : 30W  
実用最大出力 : 60W+60W / 8Ω (JEITA)  
: 100W+100W / 4Ω (JEITA)  
使用温度範囲 : +5 ~ +35°C  
音声入力端子 (ステレオピンジャック) : 1 系統  
音声出力端子 (ステレオピンジャック) : 1 系統  
予備電源コンセント 電源スイッチ非連動 : 1 ケ  
最大外形寸法 : H72.3×W210×D214.8mm  
電源コード : 約 1.9m  
質量 : 約 1730g  
●付属品 : 保証書

- ・デジタルパワーアンプ  
**AT-DATA** ￥78,000。(税抜)

(改良などのため予告なく変更することがあります。)

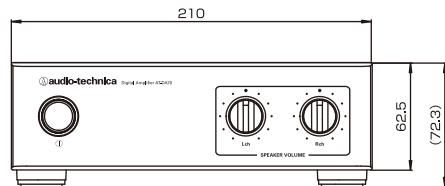
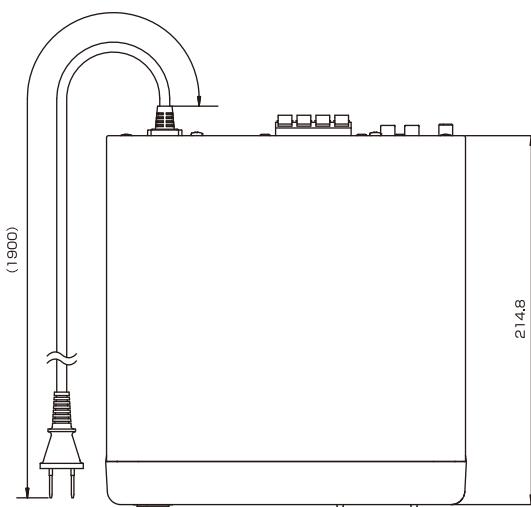
### ※修理品の送付について

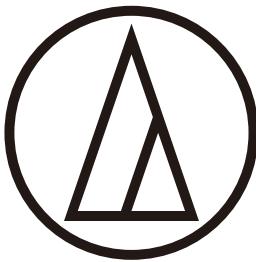
修理・検査の場合、お買い上げの販売店または当社の営業所へお送りください。  
なお、送料はお客様ご負担とさせて頂きます。

製品は輸送中の事故がないように、元通りに梱包してお送りください。

## 外形寸法図

(単位:mm)





**audio-technica<sup>®</sup>**  
*always listening*

製品保証および修理などにつきましては、お買い上げのお店あるいは  
下記までお問い合わせください。

**株式会社オーディオテクニカ**

[ 東京 ] 東京都文京区湯島 1-8-3 テクニカハウス  
〒113-8525 ☎ 03(6801)2030

[ 名古屋 ] 愛知県名古屋市東区葵 3-22-8 ニューザックビル 7F  
〒461-0004 ☎ 052(979)4706

[ 大阪 ] 大阪市淀川区西宮原 2-1-3 SORA 新大阪 21 13F  
〒532-0004 ☎ 06(6395)5464

[ 福岡 ] 福岡市博多区博多駅東 3-12-1 アバンダント 95 ビル 3F  
〒812-0013 ☎ 092(412)7261

<http://www.audio-technica.co.jp/amz>